

神戸大学医学部附属病院 かかりつけ医紹介カード

病院名 医療法人社団医仁会 ふくやま病院

診療科目 内科・消化器内科・糖尿病内科・外科・整形外科・消化器外科・肛門外科・
緩和ケア内科・緩和ケア外科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
住 所 〒673-0028 兵庫県明石市硯町2丁目5-55
電 話 078-927-1514（代表）
院 長 譜久山 仁
医 師 譜久山 剛、譜久山 仁、清岡 一彦、譜久山 博子、譜久山 慶子、西田 十紀人、
松崎 晃治

休診日 土曜午後・日曜・祝日・12/31～1/3



ふくやま病院は、明石にある外科・内科・整形外科・緩和ケアの病院です。
神戸大学医学部附属病院からは、緩和ケアの患者さんをご紹介いただくことが多いです。

緩和ケアは「より良く生きるためのケア」です。
緩和ケアはがん治療の後にうけるものと思われることもありますが、ふくやま病院の
緩和ケアは「ずっとまると支えます」。

・ずっと支えます

がんと診断された時からがん治療中も治療後も、通院・入院・在宅医療を通じて、切れ目なく「ずっと」患者さんご家族を支えます。

ふくやま病院では、神戸大学医学部附属病院や兵庫県立がんセンターなどがん治療を行う病院で治療中の患者さんに当院にも通院していただく「バックアップ連携」で、早期からの切れ目のない緩和ケアを行っています。また、ご自宅で安心して生活できるように在宅医療・ケアをして下さる医師、訪問看護師と連携します。

・まると支えます

「からだのつらさだけでなく、こころのつらさ・くらしの不安」も「患者さんだけでなく、ご家族」も「まると」支えます。医師、看護師、介護士、薬剤師、リハビリ療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカー、カウンセラーなど多くの職種が集まってカンファレンスを行い、患者さんの情報を共有します。治療の方向性を検討し、患者さんご家族がより良い時間を過ごせるように意見交換をしています。

患者さんが望む場所で望む暮らしができるように支えるためには、一つの病院で行う「病院完結型」医療ではなく、地域の医療機関が連携する「地域完結型」医療が必要です。ふくやま病院では、連携型機能強化型在宅療養支援病院として、外科・内科・整形外科・緩和ケアを必要とする患者さんに対して、次のような取り組みをしています。

- ・ 転院や診療所・施設からの入院

他の病院での手術後のリハビリテーション目的の転院や診療所・介護施設からの緊急入院を受け入れます。

- ・ 自宅での療養が困難になった場合の在宅復帰支援

体調不良やフレイル（身体的機能の低下）により家庭での生活が困難になってきた際には、健康管理やリハビリテーション、介護サービスの調整を行い、住み慣れた家庭で安心して生活できるように支援します。

- ・ 2週間以内のレスパイト入院

ご家族の介護負担を軽減するためのレスパイト（ひと休み）入院を受け入れます。

ふくやま病院は「自分や家族が受けたい医療」を提供することをお約束します。

「自分や家族が受けたい医療」とは、

- ・ 自分の声を聞いてもらえ、尊重してもらえる（自己決定）
- ・ 根拠に基づいており、専門職種が協力して関わってくれる（標準的医療、チーム医療）
- ・ 切れ目がない（シームレス、地域完結）医療です。

できる限り住み慣れた家庭や地域で療養しながら生活出来るよう、地域完結で切れ目のない医療を提供します。

（地図・交通案内）



山陽電車「西新町」駅下車、徒歩2分
駐車場（病院北側）：23台